

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第13回）の概要

1 開催日時

平成26年9月5日（金）10:00から11:05まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第4会議室

3 出席者

評価委員会委員：5名

事務局：6名

法人：6名

4 内容

(1) 県健康福祉部次長挨拶

(2) 議事

① 委員長選出等

- ・ 委員の互選により、中田委員が委員長に選出された。
- ・ また、中田委員長の指名により、天羽委員が職務代理者に指名された。
- ・ 次に、本委員会の公開・非公開に関して審議され、公開で行うことが決定された。

② 地方独立行政法人山口県立病院機構の第2期中期目標（案）について

- ・ 事務局から、地方独立行政法人山口県立病院機構の第2期中期目標（案）について、資料1から資料3により説明。

主な質疑応答・意見 委員 事務局 法人

- 新しい取組として、医療の質の向上ということで、病理解剖について触れて欲しい。
- 検討したい。

- 医療従事者等の研修について、医学生や看護学生などの教育実習の受入れで止めずに、質の高い教育や実習指導というような一歩踏み込んだ表現にした方がよいと思う。
- 検討したい。

- 経営体制について、外部理事はいるか。また、女性役員はいるか。
- 外部理事はいるが、女性役員はいない。

- 人事評価に関連して、医者にタイムカード制度を導入することによる不都合

があるか。

- タイムカードまでは考えていないが、医師からの時間外勤務の報告により手当を支給している。

- 希望であるが、中期計画の中で、患者サービスの向上として、患者意見の反映に向けて、具体的にどういうふうに取り組んでいくかがはっきり出てくれば良いと思う。

それから、人事に関して、職員の能力や実績を適切に反映するという辺りも、男女両性を含めて、中期計画の中ではっきり見えてくると良いということで、期待したい。

- 総合医療センターにおいては、2月に患者の意見を伺うアンケートを実施して、対応が可能なものは取り組んでいる。

人事については、結果で言うと、男女比で見れば、女性が多い場合もある。実際、採用時には、男性・女性というよりも、その人の資質、能力、意欲等が判断基準になり、結果として女性が多かったということもある。

- 人材登用に当たって、資質等を基準にされているというのはとても良い。女性登用等の数を合わせるのではなくて、きちんと能力、資質を評価して、そのラインに乗せてあげていただきたい。

- 人事に関して、看護職の場合、認定看護師など、専門の看護師資格等がかなり広がってきているが、県立病院では、資格取得に伴う手当をどうしているか。

- 他の病院ではどうしているのかということ調べて研究したいと思っている。

- 資格をどう活かすかが問題だと思う。資格は個人が取得したものと考えるか、あるいは、勉強してきたことを臨床現場に活用しようという姿勢で病院運営をするのかということ。提供する医療の質を良くしていくために専門の看護師をうまく活用して全体をレベルアップするのが良いのではないかと思う。

- 昇任時の試験制度など、資質や実績を適切に判断する上で、審査の方法やどういう基準になっているのかを教えて欲しい。

- 昇任試験制度はとっていない。例えば、看護師は、看護部の中でしっかり検討し、適任者を推薦しているのが現状である。

- 世の中の流れは、客観的に評価をするということになっているので、何か指標等を考えていった方が良いのではないかと思う。

- 患者意見の反映について、患者、対象者は日々変わっていくので、ここでの意味合いとしては、常時、患者の声を積極的に吸収する姿勢を病院側が示した方が良いと思う。

- 総合医療センターに11箇所、こころの医療センターに5箇所、院内に提言箱を設置して、絶えず患者からの提言を確認するようにしている。それと併せ

て、総合医療センターでは2月に、こころの医療センターでは6月と12月に、アンケート方式で患者の意見を伺った。

- 患者の意見に対する回答は公表しているのか。
- 院内に掲示している。

- ・ 中期目標（案）については、委員からの意見や今後行うパブリックコメントの結果などを踏まえて更に検討を進め、次回の委員会で説明することとなった。

③ その他

次回評価委員会は11月4日（火）、第15回及び第16回委員会は平成27年1月中に開催する方向で調整する。